

故・小泉秀雄先生の野帳（6）

横内 文人*

The field books of the late Mr.Hideo Koidzumi (6)

Fumito Yokouchi

植物記載學用語彙		
ENGLISH	PAGE	JAPANESE
A		
Arborescent		亜喬木 (喬木)
Alpestrine		亜高山ノ (喬木帯上部P等、 灌木帯下部、P・1等2等)
Appressed		匍伏ノ (毛茸・平布等、中 きぬやなき、アヤメさん等3等)
Annual		一年生ノ (P体全部又ハ 後 多年生P・地上茎...)
Annual herb.		一年生草本
Adnate		附着ノ (長ク付テ附着)
Acute		鋭形ノ (イ=ア 鋭尖開 コリ尖突弱)
Huminate		金鋭尖形ノ (イイ 鋭先)
Axillary		腋生ノ (葉腋ニ、腋生葉 腋生花...)
Axillary-placenta		腋生胎座 (中軸 胎座)
Abscission		花脱 (落葉中、花器 位置)
Accrescent		花後増大ノ (ほつき、 つくばね等、大ノ如ク...)

図1 小泉秀雄先生の野帳

No.21 ノートなし。	日は三峰川と荒川との合流点（荒川渡）に野営す。 1450 mの地点なり。溪間一帯闊葉樹帯にして ヒ ロハカツラ、バッコヤナギ、サワグルミ、ダンコウ バイ、ヤマブドウ、サワシバ、ハウチワカエデ、ホ タルブクロ、タラノキ、ハシバミ、ハナйкаダ、ウ メモドキ、ザリコミ、タカネザクラ、マユミ、クマ イチゴ、フウリンウメモドキ、ナガバヤナギ、コバ ノトネリコ、ツルウメモドキ、ノリノキ、クマシデ、 イタヤカエデ、ベニバナイチヤクソウ、クロベ、オ
No.22 1922 年（大正 11 年度…第 3 号）	
植物記載学用語彙 A～C（9p.省略）	
赤石山脈縦行 7 月 23 日～8 月 2 日	
7 月 28 日 塩見岳登り、荒川渡出発。7 月 27	

*横内 文人 〒399-7402 長野県松本市会田 110

オカメノキ、オトコヨウゾメ、ツリバナ、ツタウルシ、ヤマモミジ、アサノハカエデ、マタタビ、バラモミ、トウヒ、ダケモミ、ツガ、サワラ（多い）、ヒノキ（少ない）、カラムツ、ゴヨウマツ（多し）、ヒメコマツ、イチイ（多し）、コナラ、

荒川を登る。イワデンダ、ヤグルマソウ、ハクサンオミナエシ、ホツツジ、コミネカエデ、ミヤマワラビ、ハコネウツギ、フキ、イタドリ、フクロシダ、ミヤマノキシノブ、ダイモンジソウ、シナノキ、フサザクラ、フジウツギ多し、シモツケ、

南荒川と北荒川の分岐点。コハウチワカエデ、ヒメヤシャブシ、サラサドウダン、

○ 北荒川。ザイフリボク、エゾイチゴ、カマツカ、タカネフタバラン、キソチドリ、ハナイカリ、イボタヒョウタンボク、ミヤマスマレ、アカマツ、ツバメオモト、ヨブスマソウ、ホガエリガヤ、バイカウツギ、ハエドクソウ、カモメラン、オオヤマハコベ、タチツボスミレ、ミズ、ヤグルマソウ、ミヤマカンズゲ、イワセントウソウ、クロクモソウ、ツルネコノメソウ、ハンゴンソウ、タデノウミコンロンソウ、クガイソウ、オオバタケシマラン、ルイヨウショウマ、タイミンガサ、イワアカバナ、クルマムグラ、クルマバツクバネソウ、ヨブスマソウ、メンマ、タチカメバソウ、ミヤマタニタデ、ノブキ、アスナロ、サワダツ、オオバヨツバムグラ、ナガジラミ、ミヤマノキシノブ、ヤナギラン、キアワビゴケ、ヤマビコノリ、ミヤマネキノリ、ヨロイゴケ、カブトゴケ、ツナゴケ、ヒロツメゴケ、カラクサゴケ、ヒメリボンゴケ、ヒゲキノリ、サルオガセ、ミヤマカラタレゴケ、バンダイノキノリ、ヤマビコノリ、キンフジゴケ、

二股で昼食。ネコシデ、オオセンキュウ、カラムツ、コメツガ、ヨブスマソウ、シロヨメナ、ヤマモモギ、ルイヨウショウマ、ミヤマシシウド、ミヤマハンノキ、クルマユリ、ヤグルマソウ、ナガバスノキ、ヒロハノツリバナ、ヒロハカツラ、オガラバナ、ミヤマエンレイソウ、タケシマラン、ミヤマワラビ、ノアザミ、イワアカバナ、ヤハズハンノキ、イタドリ、ニワトコ、スルガヒョウタンボク、ナガバヤナギ、コマガタケスグリ、ナツユキソウ、ハンゴンソウ、タデノウミコンロンソウ、

大雪溪にかかる。ハクセンナズナ、アラゲヒョウタンボク、ミヤマハンノキ、ゴヨウイチゴ、タカネスイバ、ミヤマウイキョウ、ミソガワソウ、ミヤマゼンゴ、シナノキイチゴ、ヤマモモギ、クロツリバナ、メイゲツソウ、ノアザミ、ツヤナシイノデ、オガラ

バナ、アラゲヒョウタンボク、ヒロハカツラ、ヤグルマソウ、タデノウミコンロンソウ、コマガタケスグリ、

□□の側、ダケ灌木帯なれば少しにして、□るれば□□上まで白桧帯なり。クロクモソウ、ミヤマメシダ、ツヤナシイノデ、キバナノコマノツメ、ゲンナイフウロ、エゾノヨツバムグラ、ヤマハタザオ、トリアシショウマ、クルマユリ、タカネゲンナイフウロ、ミヤマタンポポ、カラムツソウ、ウスユキソウ、キソチドリ、エゾシオガマ、ハリスゲ、ハンゴンソウ、トゲナシゴヨウイチゴ、スンシュウヒョウタンボク、ユキザサ、ミヤマシシウド、シロヨメナ、ミヤマエンレイソウ、ムカゴトラノオ、ミヤマコウリンカ、シロバナノヘビイチゴ、ミヤママンネングサ、ミヤマヒゴタイ、クロウスゴ、ヤグルマソウ、オオバスノキ、ミヤマオトギリ、ナガバスノキ、クルマバツクバネソウ、ミヤマハタザオ、コバイケイソウ、ヤナギラン、

上の雪溪。傾斜 30～35°オオバタケシマラン、ミヤマオトギリ、ミヤマオトコヨモギ、

雪溪を離れる。タカネザクラ、オオヒョウタンボク、キオン、トモエシオガマ、キレハサンカヨウ、コメススキ、ハリブキ、タカネスイバ、コタヌキラン、

尾根上（船窪）お花畑。タテヤマキンバイ、アオノツガザクラ、ヒメイワカガミ、ヒメイチゲ、ダケカンバ、ハイマツ、コヨウラクツツジ、ヤエキバナシャクナゲ、ミヤマカンボクゴケ、ハナゴケ、ヒメスゲ、チングルマ、ヨツバシオガマ、ムカゴトラノオ、ウラジロナナカマド、クロウスゴ、オヤマリンドウ、ウサギギク、ミヤマゼンゴ、コバイケイソウ、チシマニンジン、アキノキリンソウ、ヒメクワガタ、ツマトリソウ、ヨロイゴケ、タカネナナカマド、タカネズメノヒエ、ミツバオウレン、

頂上にかかる。イワヒゲ、ミヤマキンバイ、コケモモ、キダチキノリ、ホネキノリ、タカネイワタケ、ハナゴケ、チズゴケ、ミヤマヌカボシソウ、ウラシマツツジ、ハクサンイチゲ、トウヤクリンドウ、ハナゴケモドキ、オンタデ、イワウメ、イワベンケイ、タカネナズナ、シコタンソウ、イワヒゲ、タカネヒゴタイ、ミヤマミミナグサ、ムカゴユキノシタ、ツガザクラ、タカネツメクサ、ミヤマノガリヤス、タカネノガリヤス、イワツメクサ、ジョウゴゴケ、ミヤマコウボウ、タカネイチゴツナギ、タカネニガナ、チシマギキョウ、ウシノケグサ、タカネシオガマ、ウラシマツツジ、クロマメノキ、タカネスミレ、ヒメカラムツ、

塩見岳の頂上。鍾中にある名刺6枚。頂上は緑石英岩、硬砂岩。タカネマンテマ、シコタンハコベ、ムカゴユキノシタ、タカネシダ、ミヤマダイコンソウ、ジンヨウスイバ、

7月29日 塩見岳西尾根発。エゾシオガマ、ウサギギク、ミヤマキンボウゲ、ミヤマハンノキ、

前塩見岳。アキノキリンソウ、ウラジロナナカマド、ゴゼンタチバナ、ヒメタケシマラン、セリバシオガマ、ツバメオモト、コバイケイソウ、クロウスゴ、イワセントウソウ、アオジクスノキ、シラベ、ダケカンバ、ミヤマハンノキ、ヒメノガリヤス、マイヅルソウ、トゲナシゴヨウイチゴ、コガネイチゴ、シロシャクナゲ、コヨウラクツツジ、ハイマツ、ナガバノキ、アカカンバ、ミヤマホツツジ、タカネナナカマド、(山岳スケッチ6p.省略)。ミヤマクロボシソウ、タカネザクラ、オヤマリンドウ、ミヤマオトギリ、ミヤマワラビ、

頂上はハイマツ、タカネナナカマド、シロシャクナゲ等の灌木林なり。ミヤマメシダ、ニガナ、タカネニガナ、コバイケイソウ、シラベ林、コフタバラン、

本谷山。ミヤマキンボウゲ、タカネグンナイフウロ、クロクモソウ、シナノキンバイ、タデノウミコンソウ、メタカラコウ、タカネスイバ、キバナノコマノツメ、ヒメタケシマラン、エゾノイブキトラノオ、アキノキリンソウ、ノアザミ、ミヤマカラマツ、ハイマツ、ミヤマオトギリ、ミヤマコウゾリナ、コバイケイソウ、オオバタケシマラン、シロシャクナゲ、ダケカンバ、ルイヨウショウマ、イノデ、キバナノアカモノ?、トゲブキ、キレバサンカヨウ、ムカゴトラノオ、カニコウモリ、ミヤマメシダ、コガネイチゴ、クロウスゴ、ミヤマクロボシソウ、トゲナシゴヨウイチゴ、セリバシオガマ、ユキザサ、マイヅルソウ、クロツリバナ、イワセントウソウ、エンレイソウ、シオガマギク、トモエシオガマ、ヨツバシオガマ、ムカゴトラノオ、ウスユキソウ、カラマツソウ、ミヤマコウリンカ、ミヤマオトコヨモギ、イワベンケイ、タカネニガナ、タカネグンナイフウロ、トウヤクリンドウ、クモナズナ、ミヤマオトギリ、ダケカンバ、ウシノケグサ、ヒメノガリヤス、イワスゲ、キバナノコマノツメ、イワノガリヤス、ミヤマシシウド、ルイヨウショウマ、ウラジロナナカマド、クロウスゴ、ミヤマトウヒレン、タカネザクラ、ツマトリソウ、エゾヨツバムグラ、ヒメイワカガミ、ミヤマドジョウツナギ、エゾシオガマ、クモマズメノヒエ、ヤマハハコ、ネバリノギラン、ミヤマホツツジ、オヤマリンドウ、オタカラ

コウ、マツムシソウ、アカカンバ、クルマユリ、ハクサンチドリ、ウサギギク、ミヤマアワガエリ、タカネスイバ、ウメバチソウ、オヤマリンドウ、ハクサンチドリ、ホザキイチヨウラン、シロバナセリバシオガマ、ミヤマワラビ、オサバグサは林中に多し。

山伏峠(=三伏峠)(駿河側)。シナノキンバイ、タカネスイバ、ミヤマシシウド、ミヤマメシダ、ミソガワソウ、シロウマフウロ、ムカゴトラノオ、タカネグンナイフウロ、ルイヨウショウマ、イワノガリヤス、ヒメスゲ、ミヤマヒゴタイ、ダケカンバ、タカラコウ?、シモツケソウ、オクヤマアザミ、ミヤマオトギリ、シオガマギク、タチツボスミレ、アキノキリンソウ、

お花畑(中俣の水源地)大なり。メタカラコウ、ホソバトリカブト、クルマユリ、イブキヌカボ、ヌカボシソウ、ヨブスマソウ、ヤグルマソウ、ミヤマシシウド、キバナノコマノツメ、ウラジロナナカマド、オノエスゲ?、シロバナハクサンフウロ、エンレイソウ、クロウスゴ、ナナカマド、クロクモソウ、オオヒョウタンボク、オオバタケシマラン、クルマバツクバネソウ、ナツユキソウ、タデノウミコンソウ、ハリスゲ、クロツリバナ、ハイマツ、ホザキノイチヨウラン、ミヤマチドリ、

これより小河内岳、ダケカンバ林中を上る。大お花畑なり。ミヤマアワガエリ、シロウマチドリ、ホザキイチヨウラン、ヨツバシオガマ、ミツバオウレン、クロユリ、エゾノショウジョウバカマ、ミヤマオトギリ、コメススキ、ミヤマエンレイソウ、ハリスゲ、ハクサンイチゲ、ユキザサ、イブキゼリ、ミヤマホツツジ、ミヤマキンボウゲ、クロクモソウ、オオヒョウタンボク、ハナゴケモドキ、オニハナゴケ?、レンゲゴケ、ハナゴケ、ムラサキハナゴケ、ミヤマカキノキゴケ、シオガマギク、コバノエイランタイ、ジョウゴゴケ、イワセントウソウ、ハクサンイチゲ、ヒメイワカガミ、

小河内岳 第一岩石帯。タカネニガナ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマウイキョウ、ハクサンイチゲ、トウヤクリンドウ、タカネヒゴタイ、ヒメカラマツ、イワオウギ、ヒメイワカガミ、ムシゴケ、イワベンケイ、シコタンハコベ、ダイモンジソウ、ムカゴユキノシタ、チシマアマナ、ミヤマオトコヨモギ、タカネナルコスゲ、タカネイバラ、オノエスゲ、イトイ、タカネニガナ、ウスユキソウ、シコタンソウ、ヒメシャジン、コケモモ、キバナシャクナゲ、イブキジャコウソウ、ミヤマヤナギ、ミヤママンネングサ、ミヤマミミナグサ、ミヤマキンバイ、ウシノケ

グサ、ヤマブキショウマ、タカネナデシコ、ミヤマ
ホツツジ、ニョホウチドリ、ミヤマネズ、

第二岩石。ミヤマネズ、ネバリノギラン、コメス
スキ、タカネシダ、

第三岩石。イワツメクサ、コバノツメクサ、ミヤ
ママツムシソウ、ビランジ、ウラジロキンバイ、タ
カネキスミレ、キバナノコマノツメ、ミヤマクロス
ゲ、ヒモカズラ、タカネスズメノヒエ、タテヤマキ
ンバイ、クロツリバナ、

途中、ハイマツ林の中のお花畑、シロバナハクサン
チドリ、ハクサンチドリ、サラサハクサンチドリ、
ウサギシダ、チングルマ、エゾノショウジョウバカ
マ、タカネザクラ、ツマトリソウ、トガスグリ、ミ
ヤマゼンゴ、

第四岩石。トガクシデンダ、タカネシダ、

29 日午後 6 時、小河内岳の三角点（南端）下の
凹地に野営す。残雪あり。雷鳥は 2 羽の雛を連れて
残雪のほとりをさまよいつつあり。付近の長き凹地
にシナノキンバイの大群落あり。全面に塩見、北方
に北岳、小太郎、東駒、鯨、千丈の諸岳を望む。午
後 2 時、最低気温なり。風強し。夕風、朝風あり。
山風の冷風の変化も尋常一様なり。太陽は午前 5 時
ごろ、北荒川岳の西方の肩の所より上る。南方の富
士山は高く、天空を□□す。夜は星斗らんかん、銀
河鮮明。金星は傾き、木星は高く□□月の上にあり。

7 月 30 日、小日影山を出発。(山岳スケッチ 6 p. 省
略)。ヨツバシオガマ、エゾシオガマ、クロクモソウ、
カラマツ、ハクサンチドリ、ネバリノギラン、ミヤ
マキンボウゲ、タカネヒカゲノカズラ、タカネザク
ラ、ヒメイワカガミ、イブキトラノオ、コケモモ、
ミヤマキンバイ、イワスゲ、ウラシマツツジ、トウ
ヤクリンドウ、ミヤマダイコンソウ、コイワツメク
サ、コメバツガザクラ、シロシャクナゲ、アオノツ
ガザクラ、チングルマ、ウサギギク、オヤマリンド
ウ、コヨウラクツツジ、ハクサンイチゲ、ツマトリ
ソウ、クロウスゴ、

水あり。クロユリ、エゾノショウジョウバカマ、
コガネイチゴ、ヒメスゲ、クロマメノキ、タカネス
ギカズラ、ゴゼンタチバナ、ミヤマゼンゴ、コバイ
ケイソウ、コメススキ、アキノキリンソウ、シナノ
キンバイ、キバナノコマノツメ、ヒメクワガタ、シ
ロバナハクサンチドリ、チシマヒョウタンボク、エ
ゾカンゾウ（ゼンテイカ）、

お花畑。カラマツソウ、エゾカンゾウ、ミヤマメ
シダ、タカネグンナイフウロ、ミヤマシシウド、ル
イヨウショウマ、タカネスイバ、ミヤマキンボウゲ、

エゾイブキトラノオ、ムカゴトラノオ、オタカラコ
ウ、ハクサンフウロ、エゾシオガマ、ミヤマドジョ
ウツナギ、ハクサンチドリ、アキノキリンソウ、イ
ワセントウソウ、クロユリ、ウサギギク、オヤマリ
ンドウ、キバナノコマノツメ、コバイケイソウ、ク
ルマバツクバネソウ、カニコウモリ、ダケカンバ、
ウラジロナナカマド等、周囲にあり。

下る。サラサドウダン。(鳥獣 15 種 1 p.、山岳ス
ケッチ 1 p. 省略)。

荒川の前岩峰一板屋山。シコタンハコベ、ミヤマ
ムラサキ、タカネナデシコ、ヒメコゴメグサ、ミヤ
マウイキョウ、ミヤマオトコヨモギ、イワインチ
ン、タカネサギソウ（ミヤマチドリ）、タカネニガ
ナ、ビランジ、シコタンソウ、イワデンダ、イワオ
ウギ、トガクシデンダ、ミヤマクロスゲ、シコタン
ソウ、タカネシオガマ、ダイモンジソウ、クモナナ
ズナ、ミヤマイチゴツナギ、ミヤママンネングサ、
タカネアオヤギソウ、タカネヒゴタイ、ミヤマヌカ
ボ、ヒメクモマダ、ヤツガタケシノブ、ナヨシダ、
ハクロバイ(カマナシキンロバイ)、ミヤマシャジン、
ムカゴトラノオ、ミヤママツムシソウ、ウスユキソ
ウ、タカネヤハズハハコ、カラマツ、シンパク、タ
カネイバラ、ヒモカズラ、

岩石帯。モミジカラマツ、ヒメアカバナ、コバノ
ツメクサ、シロウマオウギ、タカネシュロソウ、ギ
ンロバイ、ウラジロキンバイ、ヒメカラマツ（ヒメ
ミヤマカラマツ）、タカネイバラ、ミヤマコウリンカ、
シロバナビランジ、タカネナデシコ、ツリガネツツ
ジ、

高山にかかる。ミヤマネズ、ミヤマアワガエリ、
ミヤマオダマキ。

荒川岳。針葉樹林帯。ミヤマネズ、テガタチドリ、
タカネグンナイフウロ、シロバナビランジ、ウスユ
キソウ、イワオウギ、ノアザミ、マツムシソウ、コ
メススキ、ミヤマシシウド、クルマユリ、ムカゴト
ラノオ、ヨツバシオガマ、ミヤママンネングサ、ミ
ヤマコウゾリナ、ヒメスゲ、カラマツソウ、タカネ
スイバ、オオメシダ、タカネイチゴツナギ、ルイヨ
ウショウマ、コバイケイソウ、タカネザクラ、ホソ
バトリカブト、オガラバナ、ダケカンバ、ウラジロ
ナナカマド、カニコウモリ、ゴゼンタチバナ、ミヤ
マハンノキ、ハリブキ、コガネイチゴ、タケシマラ
ン、アオジクスノキ、コメツガ、シラベ、クロウスゴ、
セリバシオガマ、ナナカマド、ツマトリソウ、シラ
ネワラビ、コヨウラクツツジ、エンレイソウ、ミネ
カエデ、クロクモソウ、クルマバツクバネソウ、タ

カネナナカマド、マイヅルソウ、モミジカラマツ、トゲナシゴヨウイチゴ、ズダヤクシュ、ユキザサ、キレバサンカヨウ、イワノガリヤス、エンレイソウ、コミヤマカタバミ、イブキゼリ、イワセントウソウ、フタバラン、オオヒョウタンボク、クロクモソウ、ヤグルマソウ、キンスゲ、アキノキリンソウ、ミヤマハンノキ、ダイモンジソウ、ミヤマドジョウツナギ、ヤマブキショウマ、ミヤマダイコンソウ、トガスグリ、

草原(カール底下)に出る。クロユリ、ミヤマゼンゴ、ミヤマキンポウゲ、カラマツソウ、ハクサンイチゲ、イトキンスゲ、タカネスイバ、タケシマラン、ハリスゲ?、コバイケイソウ、ウラジロナナカマド、

中腹に一泊す。ここは広潤にして緩傾斜をなし幅広し、谷底は平坦にして空水なる細溪二、三條を通ず。谷底は凡そ風化不充分なる礫野なれば、木本は生ずれど粗にして高山灌木林をなすも大部分は草原をなし、以上の如き分子より成る。灌木藪は班々、島嶼の如し。両崖はやや急傾斜をなし、タカネザクラ、ダケカンバ、オオヒョウタンボク、ミヤマハンノキ、ミネカエデ、コヨウラクツツジ等より成る。高山灌木林より下方は白松の針葉樹より成る。

7月31日 荒川岳中腹夜営地出発。宿所を上り、ハイマツ帯にかかる。オンタデ、(ミヤマ)トリカブト、ホソバトリカブト、ミソガワソウ、イトキンスゲ、イワセントウソウ、キンスゲ、キバナシャクナゲ、コガネイチゴ、トウヤクリンドウ、ミヤマコウボウ、イワスゲ、イワカガミ、コイワカガミ、タカネスギカズラ、アオノツガザクラ、ムシゴケ、カブトゴケ、ハナゴケ、コバノエイランタイ、キゴケ、

カールを登る。第2石堤あり。その上は角礫長く地にあり。ヤゲン状の凹地をなす。ジョウゴゴケ、ハナゴケ、ムラサキハナゴケ、コバノエイランタイ、ジョウゴゴケ、イワヒゲ、ガンコウラン、タカネツメクサ、コメバツガザクラ、

第1の石堤にかかる。イワツメクサ、トウヤクリンドウ、タカネツメクサ、ミヤマタネツケバナ、オンタデ、ツガザクラ、タカネヒゴタイ、ハクサンイチゲ、ハイマツゴケ、コイワカガミ、イワベンケイ、ミネズオウ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマタネツケバナ、クモマスズメノヒエ、ダケカンバ、キバナシャクナゲ、コイワカガミ、ガンコウラン、ミヤマゼンゴ、キバナノコマツノメ、ウサギギク、オオツガザクラ、ミヤマヌカボシソウ、ミヤマクロスゲ、ミヤマミナグサ、ヨツバシオガマ、

カール内に入る。硬砂岩。シコタンソウ、タカネ

ヤナギ、ミヤマキンバイ、クロマメノキ、イワヒゲ、ミネズオウ、ミヤマシオガマ、タカネイチゴツナギ、オヤマノエンドウ、

カール頂上に達す。タカネヤナギ、ミヤマシオガマ、ヨツバシオガマ、ミヤマキンバイ、タカネツメクサ、イワツメクサ、ガンコウラン、ミヤマダイコンソウ、キバナシャクナゲ、タカネタンポポ、タカネハハコ、チシマギキョウ、ミヤマゼンゴ、タカネシオガマ、クモマスズメノヒエ、ヒメクワガタ、タカネソモソモ、チョウノスケソウ、イワヒゲ、ミヤマキンバイ、オンタデ、ウラシマツツジ、ヒメコゴメグサ、タカネヨモギ、アキノキリンソウ、ウスユキソウ、(山岳スケッチ1p.省略)

道の分岐点下。東岳に向かう。カールあり。

荒川岳の絶頂。ミネズオウ、コケモモ、チョウノスケソウ、タカネニガナ、ヒメコゴメグサ、コアカバナ?、タテヤマキンバイ、チングルマ、ハイマツ、キバナシャクナゲ、ハクサンイチゲ、

千丈・□□。タカネツメクサ、ウラシマツツジ、クロマメノキ、オノエスゲ、タカネナナカマド、ウラジロナナカマド、コガネイチゴ、イトキンスゲ、

下りて、カール内。お花畑。クモナズナ、イワオウギ、ミヤマオダマキ、ミヤマウイキョウ、ウラジロキンバイ、ムカゴトラノオ、イワベンケイ、イワハタザオ、タカネヒゴタイ、タカネナデシコ、ミヤママツムシソウ、ヒメカラマツ、ミヤマオトコヨモギ、エゾノショウジョウバカマ、ミヤマハタザオ、ミヤマガラシ、コイワカガミ、クロユリ、シナノキンバイ、フジハタザオ、タカネマンテマ、ヒゲハリスゲ、タテヤマキンバイ、ハクサンイチゲ、タカネヨモギ、ミヤマキンポウゲ、ミヤマタンポポ、ウサギギク、ミヤマコウリンカ、タカネハハコグサ、ウスユキソウ、クロクモソウ、ハゴロモソウ、ミヤマオダマキ、ハクサンイチゲ、シナノキンバイ、ナヨシダ、オオバショリマ、ミヤマヌカボシソウ、タカモソモソモ、ミヤマノガリヤス、ウシノケグサ、タカネハルガヤ、イトキンスゲ、ミヤマホソイチゴツナギ、クロミノウグイスカグラ、クロボスゲ、コバイケイソウ、クロユリ、タカネアオヤギソウ、チシマゼキショウ、テガタチドリ、ミヤマツメクサ、ムカゴユキノシタ、ナヨシダ、ミヤマメシダ、

頂上より下れば、ミヤマツメクサ、ミヤマネズ、カラマツ、コバノツメクサ、シロウマオウギ、

荒川岳の小屋付近。ツリガネツツジ、タカネナナカマド、イタヤカエデ、サワグルミ、アカソ、ヤマブドウ、フキ、イノデ、タラノキ、ヤマハンノキ、

ケヤマハンノキ。

東岳へ。オヤマノエンドウ、イワベンケイ、ヒゲハリスゲ、タカネヒゴタイ、ムカゴユキノシタ、ミヤマシオガマ、ヨツバシオガマ、クロマメノキ、タカネソモソモ、ハクサンイチゲ、クモナズナ、ミヤマヌカボシソウ、チョウノスケソウ、ミヤマキンバイ、ヒメカラマツ、タカネツメクサ、コバノツメクサ、シコタンソウ、シコタンハコベ、タカネヤナギ、タカネスミレ、タカネズメノヒエ、チシアマナ、ウシノケグサ、ミヤマダイコンソウ。トウヤクリンドウ、チシマギキョウ、ミヤマウイキョウ、ヒメミヤマカラマツ、タカネヤナギ、ミヤマミナグサ、タカネソモソモ、ウシノケグサ、キバナノコマノツメ、コバノツメクサ、クモイハタザオ、ミヤマイチゴツナギ、

絶頂。ハイマツの大なるもの多い。キバナシャクナゲ、コケモモ、ウラシマツツジ、クロマメノキ、ミヤマキンバイ、ミヤマノガリヤス、タカネツメクサ、チョウノスケソウ、ウシノケグサ、チシマギキョウ、イワスゲ、コメバツガザクラ、オヤマノエンドウ、ヒゲハリスゲ、ヒメコゴメグサ、トウヤクリンドウ、ヨツバシオガマ、ミヤマシオガマ、タカネヤナギ、タカネヒゴタイ、コイワカガミ、

頂上に高山野がある。ミヤマダイコンソウ、ミネズオウ、シコタンソウ、チズゴケ、ミヤマカンボクゴケ、

小赤石岳に登る（小屋より大聖寺平まで）。クモマスズメノヒエ、オオヒョウタンボク、ミヤマホツツジ、キンスゲ、クロウスゴ、タカネスギカズラ、コスギラン、ミネズオウ、ヒメイワショウブ。

（山岳スケッチ 1 p. 省略）。

小赤石山 午後出発。ヒメイワショウブ、タテヤマキンバイ、アオノツガザクラ、アスヒカズラ、チングルマ、ミヤマコウボウ、ミヤマノガリヤス、ヨツバシオガマ、タカネハハコ、ヒメクワガタ、ウサギギク、コメススキ、チシマギキョウ、タカネツメクサ、タカネイチゴツナギ、イワツメクサ、ミヤマコウゾリナ、ムカゴユキノシタ、イワウメ、ミヤマシオガマ、タカネヒゴタイ、タテヤマリンドウ、ハクサンイチゲ、ミヤマキンバイ、ミヤマヌカボシソウ、トウヤクリンドウ、タカネヤナギ、キダチキノリ、イワヒゲ、オオハリガネキノリ、ミヤマダイコンソウ、イワベンケイ、タカネニガナ、シコタンソウ、タカネスミレ、

赤石岳頂上。ミヤマガラシ、ヒメクワガタ、タテヤマキンバイ、エゾノショウジョウバカマ、コバイ

ケイソウ、ハクサンチドリ、クモマスズメノヒエ、イトキンスゲ、ミヤマミナグサ、ミヤマコウゾリナ、タカネカニツリ、ミヤマヌカボシソウ、アオノツガザクラ、ミヤマクワガタ、ミヤマタンポポ、イブキジャコウソウ、ミヤマキンボウゲ、タカネズメノヒエ、ミヤママンネングサ、コアカバナ（シロウマアカバナ）、タカネハルガヤ、クロクモソウ、タカネヨモギ、センジョウチドリ、ヒゲハリスゲ、オヤマノエンドウ、イワウメ、コメススキ、

絶頂。ウサギギク、コケモモ、イワギキョウ、オオツガザクラ、ツガザクラ。

大聖地平を下る。矢沢先生に会す。タイミンガサ、セリバシオガマ、イワカガミ、コメツガ、トウヒ、シラベ。

8月1日。広河原の獺師小屋に一泊（7月31日）。タニタデ、この付近を犬山と言う。

高山の一部 高山の滝。2段をなす。ツガ、フザザクラ、ヤシャブシ、イタヤカエデ、カツラ、タマアジサイ、ハシバミ、ヤマブキシヨウマ、ウスユキソウ、ウワバミソウ、ウリハダカエデ、オヒョウ、ナガバヤナギ、フキ、ヤマヨモギ、ミツバヒヨドリ、コウゾリナ、キイチゴ、ニガイイチゴ、ナツボウズ、ヤグルマソウ、オサシダ、オトコヨウゾメ、パイカウツギ、オオバセンキュウ、カンスゲ、ミヤマノキシノブ、ザリコミ、サワギク、ツルデンダ、イワトラノオ、イワアカバナ、ノリノキ、ミヤマクマワラビ、イワデンダ、ハンノキ、ウド、タマガワホトトギス、オオカメノキ、フクロシダ、ハウチワカエデ、

岸壁に羊歯類多し。ウワミズザクラ、キフジ、ザリコミ、ヤマブキ、キハギ、イワヒバ、ダンコウバイ、イタドリ、サルナシ、ナツボウズ、コバノトネリコ、クジャクシダ、モチノキ、タチヤナギ、ベンケイソウ、ダイモンジソウ、ハクサンオミナエシ、ナツユキソウ、フジウツギ、バッコヤナギ、ヤシャブシ、フジグロセンノウ、ミツバツツジ、ホテイシダ、オシャグジデンダ、コミネカエデ、サワシバ、コゴメウツギ、

小渋の湯。ヒメムカシヨモギ、ツユクサ、アカザ、ゲンノショウコ、クルマバナ、□□□シダ、イヌワラビ、

小渋の湯発。午後3時。イワニガナ、ソバナ、ミヤコグサ、ミツバヒヨドリ、ボタンヅル、オトコエシ、オトギリソウ、トラノオシダ、ツメクサ、コシアブラ、ヤブニンジン、タラノキ、ホタルブクロ、フジアザミ、シロバナホタルブクロ、ヌスビトハギ、キヌタソウ、トチノキ、アワブキ、サワシバ、キイチゴ、クズ、ハコネシダ、クモノスシダ、センノキ、フシ

グロセンノウ、ヤマオダマキ、

トロッコにて下る。ウワミズザクラ、カクレミノ？、ヤハズアジサイ、クモノスシダ、フジウツギ、チャンパギク、サワヒヨドリ、ミツバカエデ、ヤブタバコ、ムラサキシキブ、ヤマアジサイ、ニレ、オオバノイノモトソウ、ヤマウルシ、ソヨゴ、ホウノキ、ケヤマザクラ、アワブキ、ヤマモミジ、ミズキ、ハクウンボク、エゴノキ、クワ、ヌルデ、ヤマゴボウ、ウリノキ、イヌザンショウ、シデシャジン、コゴメウツギ、フウリンウメモドキ、ヤナギタンポポ、ヤマニガナ、アオツツラフジ、リョウブ、ネズミサシ、カマナシシモツケ、イワノガリヤス、ヤブレガサ、アカソ、ミソハギ。（日程表2p.省略）。

大正11年8月4日 松本発（午後7時12分）－富士見着（午後9時半）、富士見一泊。

（A）学術的講話（6p.省略）。

5日 富士見発。午前8時半。釜無川。シナノナデシコ、フジアザミ、ホソバニガナ。シナノナデシコの繁殖絶大なり。ピランジ（横岳峠下りにあり）。

途中。コミネカエデ、ヤシャブシ、オオバアサガラ、サラサドウダン、イタドリ、

峠を登る。シロシャクナゲ、ヒナスミレ、ヒメコマツ、ゴヨウマツ、ミズメ、ウラジロノキ、コメツガ、モミジカラマツ、

下る。レンゲショウマ、ヒメイワカガミ多し。ミヤマヒゴタイ、センジュガンピ、コウヤボウキ、イブキヌカボ、オオセンキュウ、フシグロセンノウ、（山岳スケッチ1p.省略）

8月6日出発。赤河原より小太郎山まで。

赤河原。トシマガヤ、イケマ、ドロノキ、カツラ、イワカガミ、ミヤマノキシノブ、イワセントウソウ、オトコウゾメ、ミヤマカエデ、ウワミズザクラ、モチノキ、イボタヒョウタンボク、タイミンガサ、サワダツ、ミヤマザクラ、キレバサンカヨウ、ネコシデ、コミイチャクソウ、ギンリョウソウ、ミネカエデ、ミヤマワラビ、シノブカグマ、シラネワラビ、メンマ、

頂上。シナノキイチゴ、ミヤマオトギリ、ナツユキソウ、フジアザミ、カサスゲ、

北沢（甲州）。野営地到着。イタドリ、ノアザミ、フキ、ハンゴンソウ、シロヨメナ、イヌコリヤナギ、エゾオオセンキュウ、ホソバトリカブト？、イワアカバナ、コウゾリナ、ヤグルマソウ、シラベ、ナナカマド、ネコシデ、シラカンバ、ヤマハハコ、アキノキリンソウ、トゲブキ、イノデ、コメツガ、ミネカエデ、コミネカエデ、ナガバヤナギ、カラマツ、

ヤマヨモギ、バッコヤナギ、シナノキイチゴ、ノガリヤス、オオカメノキ、ヨブスマソウ、クロクモソウ、キツリフネ、ルイヨウショウマ、タデノウミコンロンソウ、トシマガヤ、ミヤマオトギリ、ミヤマミミナグサ、ミヤマワラビ、オガラバナ、クマイチゴ、――ネコノメ、タケシマラン、ズダヤクシュ、ハリスゲ、ハンゴンソウ、ニワトコ、ミヤママタタビ、カツラ、イトイ、ウド、ダケカンバ、キイチゴ、ニガイチゴ、岩石。ダイモンジソウ、ハクサンオミナエシ、イトイ、コタヌキラン、

野呂川畔。イワオウギ、ミヤマミミナグサ、ヤマハハコ、カラマツ、コウゾリナ、ヒロハノツリバナ、ヤハズハンノキ、ミネカエデ、ハコネウツギ、ナナカマド、コメツガ、ネコシデ、ツルツゲ、ヤグルマソウ、ヨブスマソウ、アキノキリンソウ、ミヤマハタザオ、ドロノキ（大木あり）、

小太郎山に向かう。漏斗沢を登る。クガイソウ、ノダケ、ミヤマオトギリ、シモツケ、ハクサンオミナエシ、ダイモンジソウ、アラゲヒョウタンボク、ミヤママタタビ、アオジクスノキ、シモツケソウ、キソチドリ、アキノキリンソウ、ニシキウツギ、ミヤマヒゴタイ、トリアシショウマ、タニゼリ、ヤマブキショウマ、キンスゲ、モミジカラマツ、ミヤマワラビ、ハンゴンソウ、メタカラコウ、モミジハグマ、タマガワホトトギス、ヒメイワカガミ、シラネワラビ、ミヤマカラマツ、ミヤマタニタデ、クロクモソウ、ピランジ、モミジハグマ、ルイヨウショウマ、ミヤマカンスゲ、クルマユリ、ヤマオダマキ、ホソバトリカブト、ノアザミ、ミネカエデ、イトイ、ヤマヨモギ、イワアカバナ（ケゴン？）、ウメバチソウ、キイチゴ、ヨブスマソウ、ナナカマド、ヤハズハンノキ、ミヤマハンノキ、ウスユキソウ、

名取滝。クロクモソウ、イワノガリヤス、コイワザクラ、コタヌキラン、タガネソウ、シロシャクナゲ、アブラツツジ、ホクチアザミ、ネコシデ、ルイヨウショウマ、トウヒ、サワダツ、セリバシオガマ、タケシマラン、ゴゼンタチバナ、ツクバネウツギ、モミジハグマ、スノキ、クルマムグラ、コゴメウツギ、ウラジロヨウラク、ウラジロハナヒリノキ、カマナシシモツケ、イヌコリヤナギ、キバナノコマノツメ、タデノウミコンロンソウ、ミソガワソウ、オオメシダ、センジュガンピ、カツラ、ナガジラミ、オガラバナ、シナノキイチゴ、ミヤママタタビ、ツガザクラ、オオバミネバリ？、ナガバヤナギ、ダケカンバ、ミヤマシシウド、

尾根の下の岩石地。ヤツガタケシノブ、タカネザ

クラ、ネバリノギラン、オオバヨツバムグラ、ミヤマウラボシ、ヤツガタケシノブ、イワセントウソウ、コヨウラクツツジ、

尾根上に出る。ホツツジ、ミヤマハンノキ、スノキ（オオバ?）、ハナヒリノキ、ゴゼンタチバナ、コケモモ、クロウスゴ、ウラジロハナヒリノキ、ゴゼンタチバナ、イワタケの一種、イトイ、ハイマツ、セリバシオガマ、ミヤマホツツジ、ヒメスゲ、

8月7日 小太郎山頂より出発。ナガバスノキ、オオバスノキ、ハナヒリノキ、シロシャクナゲ、キバナシャクナゲ、コケモモ、ハナゴケ、チズゴケ、ヒラサンゴゴケ、タカネイワタケ、ハリガネキノリ、——イワタケ、ウラシマツツジ、カンボクゴケ、ムシゴケ、イワスゲ、ミヤマハンノキ、ヒメイワカガミ、ダケカンバ、ミヤマヌカボ、カラマツ、ウシノケグサ、タカネナナカマド、トウヤクリンドウ、エイランタイモドキ、ヒメスゲ、コバイケイソウ、ルイヨウショウマ、マイヅルソウ、アキノキリンソウ、エゾイブキトラノオ、ミヤマメシダ、タカネザクラ、クロウスゴ、ツマトリソウ、ゴゼンタチバナ、ミヤマクロボシソウ、タカネヒゴタイ、ミヤマヒゴタイ、(山岳スケッチ7p.省略)。ハナヒリノキ、ミヤマウイキョウ、キダチキノリ、ムラサキハナゴケ、ホネキノリ、ウラシマツツジ、タカネヒゴタイ、ミヤマコウボウ、オオバスノキ、トウヒ、シラベ、ナギナタゴケ、ウロコナギナタゴケ、ヤマピコノリ、ナガバスノキ、イワノガリヤス?、ヒメスゲ、ミヤマホツツジ、ヒメハナゴケ、エイランタイモドキ、シモフリゴケ、イワベンケイ、キバナノコマノツメ、タカネニガナ、

白桧帯に下る。ヨロイゴケ、コガネイチゴ、タケシマラン、コヨウラクツツジ、クロウスゴ多し、ダケカンバ、ミヤマハンノキ、タカネナナカマド、ウラジロナナカマド、トゲブキ、シラネワラビ、

北岳にかかる。リボンゴケ、ヒメリボンゴケ、イワタケモドキ、ヒメイワカガミ、ミヤマウイキョウ、オオバスノキ、ハナヒリノキ、タカネニガナ、イワスゲ、コメツガ、トウヤクリンドウ、ミヤマキンバイ、ミヤマノガリヤス、ミヤマホツツジ、ツガザクラ、

お花畑あり。ミヤマメシダ、チングルマ、ウサギギク、ヒメクワガタ、ニガナ、ネバリノギラン、ミヤマコウゾリナ、タカネハハコグサ、ニガナ、ゴゼンタチバナ、コバイケイソウ、チシマヒョウタンボク、エゾシオガマ、タカネザクラ、ミヤマオトギリ、ミヤマセンキュウ、ヨツバシオガマ、◎クモイザクラ、アオノツガザクラ、オヤマリンドウ、ムカゴト

ラノオ、シロウマフウロ、センジョウチドリ、オンタデ、ハクサンチドリ、エゾノショウジョウバカマ、

西面のお花畑。タカネツメクサ、ヒメコゴメグサ、ウラシマツツジ、クロマメノキ、イワツメクサ、イワウメ、チシマギキョウ、イワギキョウ、チョウノスケソウ、ウラジロキンバイ、シコタンソウ、ヒゲハリスゲ、ムカゴユキノシタ、タカネナズナ、ムカゴトラノオ、ハクサンイチゲ、チシマアマナ、ミヤマヌカボシソウ、タカネキスミレ、コバノツメクサ、タカネマンテマ、ナヨシダ、ツガザクラ、ミヤママンネングサ、タカネヨモギ、タテヤマキンバイ、ミヤマキンボウゲ、タカネコウボウ、タカネスイバ、ミヤマアワガエリ、ミヤマダイコンソウ、コメススキ、イワカガミ、コイワカガミ、クモマスズメノヒエ、タカネズメノヒエ、クルマユリ、タカネゲンナイフウロ、イワオウギ、シロウマアカバナ、ミヤマミミナグサ、イブキジャコウソウ、タカネナデシコ、ヤマブキショウマ、コメススキ、ミヤマタンポポ、タカネスイバ、ミヤマノガリヤス、クロユリ、イワヒゲ、ヒモカズラ、

頂上。ミヤマノガリヤス、オヤマノエンドウ、ミヤマシオガマ、タカネソモソモ、タカネノガリヤス、ミヤマタネツケバナ、ミヤマクロスゲ、ミヤマゼンゴ、シナノキンバイ、イワギキョウ、クロクモソウ、ウメバチソウ、ウスユキソウ、タカネヤナギ、シコタンハコベ、シロウマナズナ、シロウマオウギ、タカネナルコスゲ、タカネイチゴツナギ、タカネシオガマ、クモマナズナ、センジョウナズナ、クモイナズナ、ナヨシダ、トガクシデンダ、アオチャセンシダ、

北岳絶頂。ハイマツ多し。キバナシャクナゲ、アオノツガザクラ、チングルマ、ウシノケグサ、ミヤマクワガタ、ハハコヨモギ、シロウマオウギ、シロウマナズナ、ヨツバシオガマ、タカネシオガマ、ミヤマシオガマ、タカネツメクサ、タテヤマキンバイ、コケモモ、ウラシマツツジ、ヒメスゲ、イワスゲ、タカネマンテマ、ミヤマカンボクゴケ、シコタンソウ、ヒメクワガタ、ミヤマコウボウ、タカネズメノヒエ、ムカゴトラノオ、トウヤクリンドウ、ミヤマダイコンソウ、コバノツメクサ、ハクサンイチゲ、ミヤマタネツケバナ、ミヤマハタザオ、シロウマナズナ、クモマナズナ、オヤマノエンドウ、タカネマンテマ、タカネヤナギ、チシマギキョウ、タカネソモソモ、クモマキンボウゲ、タカネイチゴツナギ、イワベンケイ、タカネナルコスゲ、タカネナズナ、コバノツメクサ、ウラジロキンバイ、オヤマノエンドウ、ミヤマノガリヤス、タカネノガリヤス、クロ

ユリ、ミヤマオダマキ、リシリカニツリ、クロボスゲ、シロウマスゲ、キタダケトリカブト、キンロバイ、ウラジロキンバイ、オノエスゲ、キタダケヨモギ、オオハハコヨモギ、ハハコヨモギ、ホソバイブキボウフウ、キタダケナズナ、ミヤマオダマキ、タカネスイバ、オオシバズゲ、ハクサンイチゲ、タカネグンナイフウロ、ミヤマムラサキ、イワベンケイ、ヒメクモメグサ、チョウノスケソウ、ムカゴユキノシタ、クモマノガリヤス、クモマカニツリ、オオバショリマ、アオチャセンシダ、ミヤマオトコヨモギ、チシマアマナ、

間ノ岳。ヒゲハリスゲ、ミネズオウ、オンタデ、ミヤマオトコヨモギ、イワオウギ、ミヤマクワガタ、ミヤマウイキョウ、イワベンケイ、リシリカニツリ、ミヤマミミナグサ、ミヤマオダマキ、タカネソモソモ、タカネシオガマ、クモマキンボウゲ？、オヤマノエンドウ、タカネツメクサ、チシマアマナ、クモマナズナ、ミヤマノガリヤス、ミヤマヌカボシソウ、イワスゲ、ハクサンイチゲ、ミヤマキンバイ、イワツメクサ、ムカゴトラノオ、ミヤマクロスゲ、クロボスゲ、シコタンソウ、オンタデ、ミヤママンネングサ、ミヤマゼンゴ、ミヤマキンボウゲ、チシマアマナ、ミヤマダイコンソウ、クロマメノキ、コケモモ、タカネナルコスゲ、タカネヤナギ、ヒメコゴメグサ、アオノツガザクラ、チングルマ、タカネヤナギ、コメバツガザクラ、ミヤマタネツケバナ、タテヤマキンバイ、イワギキョウ、タカネハハコグサ、ガンコウラン、イトキンズゲ。

○ 八ヶ岳の植物帯

1. 垂直帯の現世相は南佐久郡、北巨摩郡と面せり斜面に十分に発達せるものとす。

2. 垂直帯は諏訪郡斜面に於いて異常隙となり、残存的なること。従ってその寒地帯は過去極寒時代のものにして、正常なるものにあらす。その代表的なるは横岳の西斜面なること。

3. 垂直帯は現世分布相に於いて (1) 裾野草原帯、(2) 潤葉樹帯、(3) 針葉樹帯、(4) 潤葉灌木帯、(5) ハイマツ帯の順序に発達し、真の草本帯は之を有せざるか、又はその痕跡を絶頂に見るのみなること。

4. 諏訪方面斜面はお花畑即ち草本帯の如きは、過去の遺物として氷期残存植物帯の一つに外ならず。故にその保存生育は現世決して安定の位置にあるものにあらすして、多少苦境にあり、故に□□（□□以前も）種類の保存は岸壁断崖の保存さるる間は、之を保存し得べきもその萌壊して土壌よりなる斜面となること佐久斜面の如くなりては北の豊富なる草

本帯はその跡を滅すべき運命にあるものなること。

5. 寒地帯は不安定、不自然の中に生育するにより、漸次発展するにあらずして、縮小・又は種の滅亡を来すべきこと。

6. 横岳、天狗岩等の岸壁にかかる如く多数の寒地植物の残存生育するは、土地の割合に高く已に寒地帯に達して居るに依るべしといえども一つの奇跡とも言うべし。

7. その原因は雲霧の来襲多く、雲霧の停滞する個所は湿潤、その宜しきを得て土壌は水湿分を含み、岩面は潤いに依るが如し。而してそのためか横岳の諏訪斜面の頂上近くより所々に萬滴を生じ集まりて細流をなすもの間々あり、又金時水、銀時水等の如きはその一例なり。

（白峰山脉縦走隊名簿 5p. 省略）。

No.23 1922 年（大正 11 年度）

白峰山脉・鳳凰山脉縦走採集 野帳続き

大正 11 年 8 月 8 日、間ノ岳頂上下りの野営地
午前 7 時出発。

（農鳥岳）間ノ岳。出発以来の右足の拇指の痛み漸く去る。心地よし。ミヤマヌカボ、ウラシマツツジ、ヒメコゴメグサ、コケモモ、ガンコウラン、ウシノケグサ、ミヤマウイキョウ、イワヒゲ、ミヤマキンバイ、クロマメノキ、タカネツメクサ、コメススキ、ハイマツ、キバナシャクナゲ、コバノツメクサ、ミヤマコウボウ、タカネナズナ、チシマギキョウ、ミネズオウ、ミヤマダイコンソウ、ハクサンイチゲ、クモマナズナ、アキノキリンソウ、ウサギグク、ミヤマホツツジ、タカネナカマド、ヒメクワガタ、タカネハハコ、アオノツガザクラ、タカネヨモギ、ムカゴトラノオ、ヨツバシオガマ、エゾシオガマ、エゾノショウジョウバカマ、ミヤマコウゾリナ、オヤマリンドウ、ハクサンチドリ、センジョウチドリ、ネバリノギラン、モミジカラマツ、ヒメスゲ、ゴゼンタチバナ、ツマトリソウ、オノエスゲ、オヤマノエンドウ、

2600 m 位？以上、間ノ岳との間の低き平坦なる尾根続き、農鳥岳の登りにかかる。オヤマノエンドウ、ミヤマヌカボシソウ、ミヤマキンバイ、ミヤマヌカボ、ヨツバシオガマ、イワスゲ、イワウメ、イワツメクサ、イワヒゲ、ミヤマクワガタ、オンタデ、ミヤマクロスゲ、ミヤマハンノキ、ダケカンバ、タカネソモソモ、ミヤマノガリヤス、ミヤマタネツケバナ、

頂上。ムカゴトラノオ、シコタンソウ、タカネヒゴタイ、ミヤママンネングサ、タテヤマキンバイ、タカネヨモギ、ミヤマゼンゴ、イワベンケイ、ミヤマアワガエリ、ヒゲハリスゲ、イブキジャコウソウ、ミヤマミミナグサ、ミヤマシオガマ、

青年会にて立てし、赤旗あり。下り口大門沢に向かって白河内岳を下る。

広河内岳。チングルマ、ハイマツ、タカネヨモギ、タカネハハコ、タカネツメクサ、アオノツガザクラ、コイワカガミ、キバナシャクナゲ、ミネズオウ、ウラシマツツジ、クロマメノキ、コケモモ、クロウスゴ、ミヤマミミナグサ、タカネヨモギ、コメススキ、ウシノケグサ、ミヤママンネングサ、イタドリ、タカネハハコ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマキンバイ、アキノキリンソウ、タカネグンナイフウロ、クロウスゴ、ミヤマハンノキ、ミヤマキンボウゲ、タカネナナカマド、ウラジロナナカマド、イワベンケイ、タカネスイバ、ミヤマタンポポ、イブキジャコウソウ、ミヤマクワガタ、クロクモソウ、タカネヒゴタイ、ヨツバシオガマ、タカネズメノヒエ、クモマスズメノヒエ、ヒメスゲ、ミヤマオトコヨモギ、イワインチン、コヨウラクツツジ、ミヤマホツツジ、ヤマブキシヨウマ、ミヤマクロスゲ、ダケカンバ、コメツガ、ミヤマシャジン、ミヤマゼンゴ、ムカゴトラノオ、キバナノコマノツメ、クロクモソウ、タカネニガナ、ミヤマタネツケバナ、ミヤマキンバイ、チシマギキョウ、ハクサンイチゲ、イワカガミ、ミヤマヌカボ、ジンヨウスイバ、ミヤマクワガタ、ツガザクラ、タカネスギカズラ、ミヤマメシダ、ミヤマオトギリ、ウシノケグサ、ダケカンバ、ミヤマウラジロイチゴ、ヤマハハコ、トガスグリ、

大ガレ沢を下り落合にて中食。ミヤマガラシ、イワアカバナ、オオバセンキュウ、クガイソウ、タデノウミコンロンソウ、ウド、イワガラミ、ヨブスマソウ、ノガリヤス、コウゾリナ、イタヤカエデ、ネコシデ、ヤマヨモギ、ヤマブキシヨウマ、ノアザミ、コミヤマカタバミ、カニコウモリ、カツラ、キツリフネ、オオカメノキ、サワグルミ、ノリノキ、アキノキリンソウ、

鉄□二つあり、右に至る。ヤナギラン、ヤハズハンノキ、ナガバヤナギ、タマガワホトトギス、ヤマガラシ、マタタビ、バッコヤナギ、ヤグルマソウ、ヤマハハコ、キイチゴ、エビガライチゴ、ウバユリ、サワシバ、オドリコソウ、イタヤメイゲツ、ヤブレガサ、ウワバミソウ、ミヤマエンレイソウ、ルイヨウボタン、オトコエシ、フサザクラ、タマアジサイ、

コゴメウツギ、シナノキイチゴ、ミヤマナデシコ、ノリノキ、(奈良王神社の由来2p.省略)

8月9日6時、奈良田発。ツユクサ、ノアザミ、フジ、ヤマヨモギ、コウゾリナ、ススキ、タニソバ、ヤマノイモ、フジアザミ、アカソ、ヤマハハコ、ヌルデ、ヒメオトギリ、ヤクシソウ、ミヤマタニソバ、ヤマオダマキ、シシガシラ、ウリハダカエデ、ムラサキシキブ、タラノキ、コナラ、クヌギ、イタドリ、リョウブ、ヤシャブシ、ダンコウバイ、トリアシショウマ、クジャクシダ、ヌスビトハギ、ノブキ、ミヤマガマズミ、アワブキ、

鉢山(芦原)。バライチゴ、エビガライチゴ、ツリフネソウ、キツリフネ、ナガバヤナギ、アカバナ、

良生の銅鉢にて日本第3位という。東京の田中氏□。ノアザミ、オオバコ、ニガイチゴ、ヤマブドウ、フサザクラ、ハウチワカエデ、キハギ、クロモジ、

峠の頂。ヤマハタザオ、コウゾリナ、アカソ、クロカンバ、ウリハダカエデ、

トノコヤ峠頂。コウヤボウキ、コガネイチゴ、ソバナ、ホツツジ、ハクサンオミナエシ、ササゲ、ノガリヤス、ミズバショウ、ミズナラ、オヤリハグマ?、ブナ、テツカエデ、オオカメノキ、コバノトネリコ、センノキ、ウド、レンゲショウマ、シモツケソウ、オナガイタヤ、ニッコウヒョウタンボク、ヤマボクチ、ツクバネウツギ、ツタウルシ、イタヤカエデ、ヤマモミジ、アオダモ、ヤブサンザシ、ミヤマガマズミ、キイチゴ、シロヨメナ、ヤブタバコ、ミツバアケビ、コナラ、モミ、ツガ、ミズキ、フシグロセンノウ、ミヤマママコナ?、ミヤマトウバナ、下る。フジアザミ、キヌタソウ、

夜叉神峠。ウツボグサ、クルマバナ、コマツナギ、キンミズヒキ、ゲンノショウコ、コナラ、カラマツソウ、ヘクソカズラ、チャンパギク、フシグロセンノウ、オトコヨモギ、カワラケツメイ、オオバセンキュウ、イタドリ、キフジ、オオダイコンソウ、タマアジサイ、リュウノウギク、フジアザミ、ボタンヅル、ツリフネソウ、ヤマハハコ、クルマバナ、ヤマウルシ、ノブドウ、バイカウツギ、ドロノキ、ウチワドコロ、ミツバウツギ、ウツギ、シデシャジン、ヤブジラミ、ナンバンハコベ、オトコエシ、ナワシロイチゴ、メドハギ、ヒメハギ、ヒメジョオン、ハギ、フシグロセンノウ、ギボウシ、キリンソウ、イヌエンジュ、イボタノキ、クリ、ヤエムグラ、アカソ、ハシバミ、ノイバラ、トコロ、アカネ、シシウド、コオニユリ、ススキ、オトギリソウ、ツリガネニンジン、マツムシソウ、カタバミ、シオガマギク、シ

ロトダシバ、ナワシロイチゴ、トモエソウ、ヤマズメノヒエ、エビガライチゴ、オタカラコウ、コゴメウツギ、シロバナホタルブクロ、ズミ、キヌタソウ、ナワシログミ、チョウジザクラ、ハウチワカエデ、シロバナノヘビイチゴ、ハシバミ、ダンコウバイ、ミズナラ、ヤマニガナ、キハダ、ミツバヒヨドリ、ミヤマママコナ、ヤマオダマキ、ヤマブキショウマ、オヤリハグマ、モミジドコロ、フシグロ、イケマ、ミツバアケビ、ニガナ、タチイチゴツナギ、

道2分ず。オニグルミ、ハコネウツギ、クガイソウ、センジュガンピ、

頂上。サワギク、ヤグルマソウ、シラネウラボ、メタカラコウ、ヤナギラン、ミヤマカラマツソウ、ミヤマオトギリ、メタカラコウ、ウド、ノダケ、シロバナシモツケ、コウヤボウキ、ヤマオダマキ、コメツガ、オオカメノキ、イトマキエタヤ、ミツバツツジ、クガイソウ、タガネソウ、イワノガリヤス、オオバセンキュウ、イワセントウソウ、カニコウモリ、カラマツ、

1850 m辺より針葉樹林となる。セリバシオガマ、トリアシショウマ、ネコシデ、ナナカマド、ミヤマウラボ、カニコウモリ、マイヅルソウ、アキノキリンソウ、ホソバトリカブト、オヤマリンドウ、

下る。ゴゼンタチバナ、

御室山。お花畑。キオン、ミヤマクロボシソウ、ヤマヌカボ、ホソバトリカブト、ヤマハハコ、トウヒレン、テガタチドリ、ミヤマゼンゴ、ナガハグサ？、ヤマヨモギ、ハンゴンソウ、オヤマリンドウ、アキノキリンソウ、ダケカンバ、ミヤマオトギリ、クガイソウ、ミヤマウラボ、ヤマブキショウマ、クモマスズメノヒエ、

針葉樹林内は開空内（沢山の砂礫の平地または緩傾斜地にして二、三反内外なり）には、草□草原となりてお花畑の観あり。その内容を吟味するに高山分子と中山分子との混合よりなる。而してその高山分子の方は此辺 2200 内外の高さにあるべからざるものを多産する。（南アルプスにコマクサなし）。クモマスズメノヒエ、オヤマリンドウ、ミヤマゼンゴ等は、往昔高山帯の下降せし時の置き土産にして、現在は暫次消滅に近づきつつあるものと言えり。

8月10日、辻の山の杣小屋出発。鳳凰山に向かって登る。白桧林に至る。セリバシオガマ、コガネイチゴ、オヤマリンドウ、ゴゼンタチバナ、アスヒカズラ、タケシマラン、ダケカンバ、コメススキ、シラベ、ウシノケグサ、シロバナノヘビイチゴ、ヒメスゲ、ナナカマド、キゴケ、ミヤマウラボシ、シロシャ

クナゲ、コミヤマカタバミ、ヤマハハコ、ミヤマウラボシ、シロイチゴ、シナノキイチゴ、ミヤマウラボシ、シラネウラボシ、オオバスノキ、ツマトリソウ、ハナゴケ、ハリガネキノリ、ホネキノリ、サルオガセ、カラクサゴケ、コヨウラクツツジ、リンネソウ、ヒメイワカガミ、キバナノコマノツメ、トウヤクリンドウ、カブトゴケ、クモマスズメノヒエ、ミヤマゼンゴ、ミヤマヌカボ、ミヤマクロボシソウ、

頂上近い。ウラボシナナカマド、ハイマツ、ヤマハハコ、コバイケイ、シロバナノヘビイチゴ、クロウスゴ、ウラシマツツジ、ミヤマコゴメグサ、ダケカンバ、カラマツ、

頂上砂地。コケモモ、アカカンバ？、モモイロビランジ、ミヤマウイキョウ、ヤツガタケネギ（葉は丸し）、ミノドロの行者小屋付近にもあり。オニクビリ（イワガラミ？）、湯に入れ味辛し…センキ、リュウマチ、婦人病に効あり。（山岳スケッチ 5p. 省略）。

薬師岳頂。カラマツ、アカカンバ？、ビランジ、ミヤマウラボシ、ミヤマコウボウ、タカネヒゴタイ、ヒメコゴメグサ、タカネナナカマド、オヤマリンドウ、コバイケイソウ、クモマスズメノヒエ、タカネハハコ、エゾシオガマ、ヒメスゲ、コガネイチゴ、ミヤマウラボシ、ミヤマコウゾリナ、チングルマ、ヒメクワガタ、タカネゲンナイフウロ、コメススキ、クロスズ？、シラベ、ハイマツ、シロシャクナゲ、

この辺白砂青松の風景なり。富士を眺めて、タカネナズナ、

観音岳。シロシャクナゲ、オオバスノキ、コケモモ、ヒメイワカガミ、タカネヒゴタイ、ビランジ、タカネナズナ、ウラシマツツジ、ミヤマホツツジ、カラマツ、ホウオウシャジン、ミヤマヌカボ、イワスゲ、

下る。タカネナズナ、ウスユキソウ、ヨツバシオガマ、トウヤクリンドウ、イワインチン、ムカゴトラノオ、

水辺。カラマツは頂上に多く、曲がり平伏す。ウシノケグサ、ミヤマヌカボ、ミヤマウイキョウ、ミヤマヒゴタイ、モミジカラマツ、タイツリオウギ、イトイ、ミヤマホツツジ、ミヤマハンノキ、ダイヤモンドソウ、ズメノヒエ、メタカラコウ、

地蔵ヶ岳。ミヤマシシウド、タイツリオウギ、メイゲツソウ、ミヤマホタルブクロ、一シャジン、ヤマハハコ、ホソバトリカブト、エゾシオガマ、ホウオウシャジン、ミヤマウイキョウ、タカネニガナ、ミヤマナズナ？、ミヤマウラボシ、キバナノコマノツメ、トウヤクリンドウ、ミヤマコウボウ、シロシャクナゲ、タケシマラン、コガネイチゴ、ヒメイワカ

ガミ、マイヅルソウ、タイツリオウギ、ビランジ、高山蝶等を見ゆ。雷鳥も？。ダケカンバ、ミヤマハンノキ、ウスユキソウ、ミヤマシャジン、タカネゲンナイフウロ、カラマツ、クモマスズメノヒエ、ミヤマゼンゴ、ダケカンバ、アキノキリンソウ、タカネナナカマド、トウヤクリンドウ、

高嶺。ハナヒリノキ、コメツツジ、キバナシャクナゲ、コケモモ、ハイマツ、ダケカンバ、ウシノケグサ、ミヤマヌカボ、

この山より水成岩に変化す。オオバスノキ、コフタバラン、シラベ、コメツガ、シロシャクナゲ、

一沢の頭。タカネザクラ、ハナヒリノキ、ツバメオモト、ルイヨウショウマ、クロウスゴ、タカネゲンナイフウロ、

朝与岳にかかる。尾根の最低所より朝与岳に向かう。登ること畧6丁、左手の尾根を下ること15間(20分)許りに小屋場及び小屋あり。清水湧出す。登り口のお花畑。シナノキンバイ、トモエシオガマ、クルマユリ、タカネゲンナイフウロ、ミヤマオトギリ、ホソバトリカブト、ウシノケグサ、ヤマハハコ、

イワインチン、ミヤマヒゴタイ、ミヤマキングルマ、ミヤマヌカボ、

頂上。ミヤマダイコンソウ、イワスゲ、コケモモ、ハイマツ、ダケカンバ、ミヤマキンバイ、ミヤマハンノキ、ヒメイワカガミ、キバナシャクナゲ、コメツツジ、タカネニガナ、

8月1日、仙水峠(北沢水源)発。チングルマ、ミヤマヌカボ、コメススキ、クロウスゴ、オオバスノキ、タカネスギカズラ、アオジクスノキ、

前駒ヶ岳。イワインチン、ハナヒリノキ、ミヤマキンバイ、ミヤマヌカボ、チシマゼキショウ、(山岳スケッチ1p.省略)。

牧野博士は氷河に関係あり…偃上湖。辻村…火口は楯池位より焼山せる□□を持ち来たり。ユキワリソウ、ナンキンコザクラ、クマギク…四家の田の畦道に多産す。野平より菅に進むとき、800mしてツガ林あり。中山山脈上水内鬼無里桧沢にあり。900m位にしてツガ。八坂村字相川の道側にアカモノの群落あり。(地質メモ1p.省略)。